

情報工学科			英語				
学年	第4学年	担当教員名	石山 勲				
単位数・期間		2単位	通年	週当りの開講回数	1回	必修	履修単位
授業の目標と概要		理工系学生が身につけておくべき科学技術英語の基礎的な語彙と構文を理解できる。 釧路高専目標(F) JABEE(i)					
		釧路高専目標	A:70%,B:30%		JABEE目標	f	
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		復習テストを適宜実施する。授業に支障をきたす言動については減点対象とする。					
到達目標		基礎的な科学技術英語、工業英語で書かれた英文の概要を自力で理解できる。 工業英語検定4級に合格できる英語力を習得し、更に3級に合格できる力を養う。					
成績評価方法		定期試験の成績を70%、小テストを30%とし、この合計点で合否判定をする。(合格点に達した者を対象に工業英検4級合格者には10点、3級合格者には20点をこれに加える) 担当教員の判断により、「欠席、遅刻、居眠り、授業以外の行動、私語、暴言等」は減点する。					
テキスト・参考書		教科書:役に立つ科学技術英語(南雲堂) ¥2,000 参考書:テクニカル・イングリッシュの基礎と演習(研究社) ¥1,700 参考書:理工系学生のための科学技術英語(南雲堂) ¥1,100					
メッセージ		評定加算になるので、工業英語検定の受験を薦める。 学年末の再試験は1回とする。					
授 業 内 容							
授業項目				授業項目ごとの達成目標			
1Unit1 - 3(7回) 2工業英検問題(7回)				1物質の成り立ち、原子、元素に関する英語が理解できる。 2工業英語4級程度の問題が解ける。			
前期中間試験				実施する			
1Unit4 - 6(7回) 2工業英検問題(7回)				1運動と重力、エネルギー、熱に関する英語が理解できる。 2工業英語4級程度の問題が解ける。			
前期期末試験				実施する			
1Unit7 - 9(7回) 2工業英検問題(7回)				1喫煙、麻薬、電気と磁気、磁石に関する英語が理解できる。 2工業英語4級程度の問題が解け、更に3級の問題を解く基礎力を養成する。			
後期中間試験				実施する			
1Unit10 - 11(7回) 2工業英検問題(7回)				1生命の起源、天気、天候に関する英語が理解できる。 2工業英語4級程度の問題が解け、更に3級の問題を解く基礎力を養成する。			
後期期末試験				実施する			